

教科シラバス（芸術科・音楽）

科目名	学年	使用教材	【教科書】
音楽1	1年		MOUSA I（教育芸術社）
単位数（ 2 ） 必修・〇選択			【副教材】 なし

【学習目標】

- 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める。
- 音楽性を高め、音楽の素晴らしさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動を工夫する。
- 多様な音楽に対する理解を深め、魅力や美しさを創造的に鑑賞する。

【学習方法】

- A 表現・歌唱：曲想と曲の内容、音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱表現を工夫する。
- B 鑑賞：映像作品や楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家や演奏家の表現の特徴を理解して鑑賞する。

【学習評価】

次の4観点に基づき、学習内容のまとめ（定期考査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。

① 関心・意欲・態度	知識の理解や音楽的表現技能を習得している。				
② 思考・判断	観点①を踏まえ創造的表現を工夫している。				
③ 技能・表現	日々の授業の中で曲種に応じた発声と歌唱表現を工夫している。				
④ 知識・理解	映像作品や楽曲の表現意図や表現方法を理解し鑑賞しようとしている。 音楽理論を学び音楽表現の幅を広げようとしている。				
評価方法／観点	①	②	③	④	
授業態度の観察	○	○	○		授業に取り組む姿勢。
歌唱表現力と発声技能	○		○		発音正確さと声量
音楽理論の理解	○	○		○	小テストとワークシート
鑑賞力を文章で表現	○			○	感想文

【学習アドバイス】

- 〇歌唱はしっかりと声を出して歌うことから始まります。積極的に取り組まないと自身の声のコントロールが出来ません。
- 〇音楽理論はあまり馴染みが無く難解に感じられるかも知れませんが、段階を追って確実に理解すれば音楽表現の大きな手助けとなります。
- 〇鑑賞では常に内容を言葉で伝えられるように言語化を意識して下さい。

【年間学習計画】

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
4	校歌を歌う	歌詞を理解し歌うことで、本校生としての自覚を身につける。	暗譜で校歌の一番から三番を歌えるようになる。
5	NHK高校講座音楽I 音楽の世界へようこそ 暮らしの中にある音や音楽 日本のポップスを歌う	音楽の魅力と多様性について学ぼう。私たちにとって「音」や「音楽」の存在意義について考えてみよう。日本のポップスの歌い方を学ぼう。	何に興味を持ち、何を学んだか文章で表現することが出来るか。ポップスを魅力的に聴かせるための歌唱のポイントは何か。
6	歌の楽しみ「翼をください」 音楽映画鑑賞「うた魂」	作曲年代とその当時の時代背景を知り、ポピュラー曲がいかにも早く教科書に掲載されたかを知る。合唱が好きな高校生が家族や仲間を支えられ、魅力を再確認する。	歌詞の内容と時代背景が懐かしくほのぼのと感じられる歌唱表現ができる。 メンバー全員が吹き替えで無く自身の声で合唱している。
7	歌の楽しみ「少年時代」 音楽映画鑑賞「オーケストラ」	この曲が同名の映画の主題歌であったことを理解し、原作の書かれた時代背景などを知り、作品の理解を深める。 才能豊かな指揮者とオーケストラの団員が戦争で職を無くし、様々なアイデアで活動を再開する。	映画のストーリーと登場人物を話し、エンディングのシーンでこの曲が使われていることを知り、歌唱表現を深める。 映画全体にチャイコフスキーのバイオリンコンチェルトの演奏が効果的に使われている。
9	歌の楽しみ「オ ソーレ ミオ」 音楽理論の理解（音程）	イタリア語の発音を学び、アクセントの位置や発音の特徴を学ぶ。長三度・短三度を理解する。	イタリア民謡にふさわしい発声で歌えている。 半音と全音違いを知る。
10	ミュージカル鑑賞「レ・ミゼラブル」 音楽理論の理解（和音）	ヴィクトル・ユーゴーのロマン主義大河小説をミュージカル化。三和音と七の和音を理解する。	ミュージカルで最も有名な「群衆の歌」を日本語訳で歌う。 三和音が和音の基礎である。
11	歌の楽しみ「見上げてごらん夜の星を」 音楽映画鑑賞「アマデウス」	1960年に上演された同名のミュージカルの主題歌。坂本九さんが歌い大ヒットした。 モーツァルトの半生を描いた音楽映画。数多くのモーツァルトの作品が演奏されている。	歌詞の大半が繰り返されるため、同じ歌詞をどのように歌い分けるか。 モーツァルトとサリエリの関係。 モーツァルトとフリーメイソンの関係等を知る。
12	歌の楽しみ「野ばら」、「荒野の果てに」	ゲーテの「野ばら」に作曲したヴェルナーとシューベルトの2曲を日本語とドイツ語で歌う。「荒野の果てに」をラテン語と日本語を交え三部合唱で歌う。	2人の作曲家の曲調の違いに気づき、歌詞のとらえ方の違いを学ぶ。「荒野の果てに」の歌詞に出で来るラテン語の意味から、キャロルを理解する。
1	音楽理論の理解（コードネーム）	三度音程、三和音・七の和音の理解の上でコードネームを学ぶ。	コードネームが理解し、4種類のコードの響きを聴く。
2	音楽理論の理解（コードネーム）	三度音程、三和音・七の和音の理解の上でコードネームを学ぶ。	教科書に書かれているコードネームを実際の音で表す。
3	歌の楽しみ（これまでに歌った曲を歌う）	曲の性格を捉え、それぞれにふさわしい表現になるよう工夫する。	心を込めて伸びやかに歌う。